



社協だより



たすけあう やさしいハート まちじゅうに
～赤い羽根共同募金～

赤い羽根共同募金

『街頭啓発活動』を実施いたしました

今年も10月1日から全国一斉に、赤い羽根共同募金運動がスタートしました。

募金運動の啓発イベントとして、10月1日(火)、アスタルビスタ広川店様にご協力いただき、街頭啓発活動を実施いたしました。

啓発活動にご支援・ご協力いただきました皆さまに、心から感謝申し上げます。

※赤い羽根共同募金運動の詳細につきましては、2ページに掲載しております。



◆◆ 目次 ◆◆

- P. 2 赤い羽根共同募金運動へのご協力のお願い
- P. 3 親子招待会
広川町心身障害児者父母の会バスハイク
令和6年度福岡県社会福祉大会
- P. 4 地域密着～支え合いレポート⑩～
「くらしのサポーター養成講座」
- P. 5 わたし×ボランティア
- P. 6 デイサービスだより
毎日ちょいトレ！健康な体づくり
- P. 7 社会福祉士ソーシャルワーク実習を終えて
第53回広川町老人クラブ連合会福祉大会
- P. 8 寄付へのお礼
管理栄養士おすすめレシピ！今日のひとさら





赤い羽根共同募金運動に ご協力をお願いいたします

共同募金は、皆さんの住む町の福祉活動や
大規模災害時のボランティア活動などに活用されています

運動期間

令和6年 10月1日[㊦]～12月31日[㊦]

皆さまのあたたかいご協力によりまして、昨年（令和5年度）は、6,077,801 円の募金が寄せられました。厚くお礼申し上げます。

ご協力いただきました募金は、広川町の福祉活動や県内の社会福祉推進、災害時のボランティア活動などに広く役立てられています。

今年度も、皆さまからのあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度に寄せられた募金の使いみち



児童・青少年の 福祉活動に 520,000 円



- ・青少年健全育成事業
- ・児童青少年福祉活動推進事業
- ・母子寡婦福祉会活動推進費

地域福祉・ ボランティアの活動に 2,704,800 円

- ・福祉情報発信事業
- ・ボランティア活動センター事業
- ・ボランティア活動事業
- ・福祉団体車代助成事業
- ・愛のネットワーク事業
- ・民児協活動推進費
- ・にほん語教室推進事業
- ・住民支え合い事業
- ・多様な主体の連携協働による地域・生活支援事業

高齢者の 福祉活動に 1,312,000 円

- ・ふれあいいきいきサロン支援事業
- ・合同金婚式事業
- ・老人クラブ活動推進費



障害児・者の 福祉活動に 277,000 円

- ・身体障害者福祉協会活動推進費
- ・聴覚障害者支援事業
- ・心身障害児者父母の会活動推進費



県内の福祉施設や団体の活動に 679,637 円

共同募金活動の推進に 402,030 円



自然災害が発生した場合の 災害等準備金に 182,334 円

【問い合わせ先】

福岡県共同募金会広川町支会・広川町社会福祉福祉協議会

☎ 0943-32-3768

親子招待会を開催しました ～親子で楽しい思い出～

8月17日（土）、町内のひとり親世帯を対象とした「親子招待会」を開催しました。

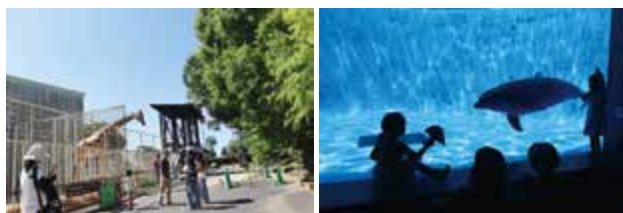
行先は長崎県佐世保市、21名の方に参加いただきました。

『九十九島動植物園 森きらら』では、ツシマヤマネコやチーター、レッサーパンダなど、珍しい動物たちの生態を近くで見学することができ、子どもたちは「図鑑で見たことがある！」と大興奮でした。

次に訪れた『九十九島水族館 海きらら』では、イルカのショーを見学したり、アオウミガメや色とりどりの魚たちと対面したりしながら、幻想的な海の世界を満喫しました。

記念写真を撮ったり、親子で笑い合ったりしながら、楽しそうに散策する姿がとても印象的でした。

素敵な夏の思い出として、参加された皆さまの心に残る一日になっていたと思います。



九十九島動植物園 森きらら 九十九島水族館海きらら

広川町心身障害児者父母の会 ～門司港トロッコ列車の旅～

9月1日（日）、広川町心身障害児者父母の会のバスハイクにて、下関・門司への日帰り旅行が実施されました。

九州鉄道記念駅から関門海峡めかり駅まで走る『門司港レトロ観光列車 潮風号』は、最高時速が15kmと日本で一番遅い列車です。心地よい風を感じながら、車窓から“のんびり”と関門海峡の景色を眺められていました。



観光列車潮風号の車内

観光案内のボランティアや地元の皆さんとの会話もはずみ、有意義な時間を過ごされていました。

会員募集中！

父母の会は、心身障がいのある子と、その親（家族）で構成されており、年間計画に基づき、バスハイクや施設見学・体験学習などを実施されています。

体験加入も可能ですので、お気軽に下記までお問い合わせください。



苅狩り体験の様子



地引網体験の様子

【問い合わせ先】

広川町心身障害児者父母の会事務局 ☎0943-32-3768

令和6年度 福岡県社会福祉大会が開催されました

10月29日（火）、クローバープラザ（春日市）において、福岡県社会福祉大会が開催されました。

本大会では、記念講演の他、福岡県において社会福祉の推進に多岐にわたり貢献された方々に対し、表彰・感謝状の授与が行われ、本年度は広川町より下記の皆さまが表彰されました。

～ 表彰を受けられた皆さまおめでとうございます ～

【福岡県知事表彰】

久泉区 「久泉ふれあいのひろば」

【福岡県知事感謝】

増永区 「増ます元気サロン」

藤田区 「いきいき体操藤田」

【福岡県共同募金会会長表彰】

川崎 和子 様（福岡県共同募金会広川町支会理事）

【福岡県共同募金会会長表彰優秀地区】

福岡県共同募金会広川町支会



大会の様子



久泉ふれあいのひろば



共同募金会広川町支会理事（社協理事）



くらしのサポーターと社協の協働による“お互いさま”の支えあいの取り組み 「くらしのサポーター養成講座」を開催

■くらしのサポーターとは？

制度や公的サービスの狭間にある自身では解決することが難しい困りごとを抱えた人に対して、地域住民が主体となって、その課題解決を図る生活支援ボランティアです。「困りごとを困りごとのままにしない」をモットーに令和3年4月から取り組みをスタートしました。今回は、安定した支援の継続ができるように、サポーターの仲間づくりを目的として養成講座を実施しました。

【1日目】8月9日（金）開催

「つなぐ、つながる、人と社会

～安心して暮らせる広川町をめざして～

講師：九州大谷短期大学幼児教育学科

教授 中村秀一 氏

2025年問題やこどもまんなか社会づくり等の社会背景を踏まえながら、年齢や障がいの有無にとらわれず、みんなが活躍できる社会＝“人にやさしい町づくり”について、事例を交えながらわかりやすく教えていただきました。

誰かに「つながる」「つながっている」大切さを改めて見つめ直す機会となりました。



【2日目】8月20日（火）開催

「認知症とともに暮らすということ

～じゅんばんこの支え合い～

講師：広川町社会福祉協議会

認知症地域支援推進員 高鍋弘美 氏

認知症は、特別な病気ではなく、認知症の本質や当事者の気持ちをみんなが理解・想像し、わがごととして考える大切さを学びました。

10年後20年後も、自分らしい暮らしを続けるために、その人を取り巻く環境に目を向けながら、家庭や地域などが“じゅんばんこ”に支え合えるつながり、安心できる場所をみんなでつくっていく必要性を感じました。



【3日目】9月6日（金）開催

「上手なコミュニケーションのコツ」

講師：一般社団法人日本ほめる達人協会

認定講師 小野ひろこ 氏

相手と同じ目線に立って物事を見ることの大切さ、言葉のもつ“くせ”を理解し、プラスの言葉に置き換えていくコミュニケーション方法など、ワークを用いて楽しく教えていただきました。

「人は誰もが、自分が言われて嬉しい言葉を持っている!」「相手に笑顔になってもらうために、“先手必笑”で!」

先生に教わった言葉を思い出しながら、家庭や地域、あらゆる場面で、相手との良好な関係づくりに役立てていきたいと思いました。



～参加者の声～

- ▶自分のこととして聞くことができ、対応の仕方がとても勉強になった。
- ▶先生方の話を聞いて、今後、無理のない範囲で自分も何か役に立てればと思った。

くらしのサポーターに寄せられる生活支援の相談および活動件数は、年々増加しています。
(参考：令和6年度活動実績：182件 ※11月1日現在)

くらしのサポーターは、今後も「できる人が・できることを・できるしこ」を合言葉に活動を続けてまいります。

活動に関心をお持ちの方は、下記までお気軽にご連絡ください。

【問い合わせ先】広川町ボランティア活動センター

☎0943-32-7073



←くらしのサポーターの
取り組み詳細はコチラ



社会の状況や時代の変化に合わせて、さまざまな分野で広がりを見せているボランティア活動。
『わたし×ボランティア』では、ボランティア活動に関わる“人”に焦点をあて、それぞれの活動や思いから、ボランティアの魅力を探ります。



レクダンスは、エアロビクスの要素を取り入れた健康体操です。若い時から体を動かすことが好きで、退職後「何か楽しい趣味を見つけないか」と思い立ち、友人に誘われて地域で実施されていた健康教室に参加したのが「レクダンス」との出会いです。

たくさんの仲間に出会って、88歳を迎えた今も、楽しく活動が続けられています。

また、地域の行事や福祉施設への慰問活動を通して、新しい出会いも増え「今日は楽しかった！また来てください。」との声をかけていただき、その一つひとつがやりがいにつながっています。

活動が続ける上では仲間の存在が大きく、「私の車に乗せて行くよ！」「帰りにお茶を飲んで帰ろうよ！」と誘い出してくれたり、足が思うように動かさない時期も「口だけでもいいけん来てよ（笑）！」と、できる範囲での参加を認めながら価値を見出してくれます。楽しい時間を共有できる仲間がいること、日々行く場所があることに、私は生かされているのだと実感しています。

皆さんののおかげで私がある。“これまで”も“これから”も、関わるすべての人に感謝をしながら活動を続けていきたいと思っています。元気でいる限り、生涯現役！

活動紹介 レクダンス

練習場所

広川町町民交流センターいこっと
2階 大研修室 西側

練習日時

毎月3回月曜日 13時30分～15時30分

◆ 会員募集中！見学・体験也大歓迎です。
興味がある方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

広川町ボランティア活動センター
☎0943-32-7073

わたしにとってのボランティアとは…
「みんなと会える場所」です。



デイサービスだより



100 歳のお誕生日をお祝い



誕生日を迎えられお気持ちを伺いました 🗒

皆さんからお祝いをしていただいて、とても嬉しいです。

昔から米や野菜を作り、畑に出ることを日課として、毎日体を動かしてきました。

皆さんのおかげで、こうして元気に過ごすことができています。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

デイサービスでは、10月に1名の方が100歳を迎えられ、みんなで誕生日をお祝いしました。

若い頃の思い出話に花が咲き、カメラを向けるとピースサインで応えてくださいました。いつまでも、お元気で過ごしてください。

【問い合わせ先】

体験利用・見学を随時受付けております。

広川町社会福祉協議会デイサービス

☎ 0943-32-7072



毎日ちょいトレ！健康な体づくり



デイサービスで実際に取り組んでいる健康体操をご紹介します。すきま時間を利用して、楽しく体を動かしましょう。今回は「かかと上げのトレーニング」にチャレンジ！

【方法】

- ①足を床にしっかりとつけ、背筋を伸ばします。
- ②姿勢を保ちながら、かかとをゆっくり上げ下げします。（5～10回繰り返し行います）

※ふらつきが気になる方は、椅子の背等を支えにしながら、安全に行ってください。

※立って行うことが難しい方は、椅子に座った状態でも十分効果がありますので、無理のない範囲で行ってください。

【効果】

かかとを上げ下げすることで、ふくらはぎの筋肉が鍛えられ、脂肪燃焼や血行促進、むくみ、冷えなどの改善が期待できます。

また、つまづきによる転倒を回避（予防）するなど、動作改善にも有効です。



社会福祉士ソーシャルワーク実習を終えて

「広川町社会福祉協議会にて実習を行い学んだこと」



西九州大学 社会福祉学科
野口 華凜 さん

今回、広川町社会福祉協議会での実習を通して、たくさんのことを学ぶことができました。

実習を行うまでは、社会福祉協議会の役割は「困り事を解決すること（場所）」だと思っていました。

しかし、実習を行う中で、困り事だけではなく、本人や地域の「やりたいこと」を含めてニーズを捉えていくことの大切さ、これらのニーズや課題に対して、様々な主体と協働して解決を進めていくことが重要であることに気づくことができました。

地域で実施されているサロン活動や通いの場活動、移動店舗販売、いきいき元気教室（町受託事業）などの活動に参加・見学させていただく中で、「今日はここに来とったとね～、また会ったね～」と住民の方に声をかけていただく機会がたくさんありました。皆さんの温かさを感じながら実習ができたことに心から感謝いたします。

今後も実習で経験したことを活かし、人に寄り添いニーズを共に見出すことができる社会福祉士になれるよう勉学に励みたいと思います。



▲シニア向けスマホ講座（扇島区）



▲地域サロン活動（長延区）



▲フードバンクくるめ取材

「第53回広川町老人クラブ連合会福祉大会」が開催されました

10月26日（土）、広川町保健・福祉センターはなやぎの里において、令和6年度第53回広川町老人クラブ連合会福祉大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の流行により令和元年度以来の開催となった本大会は、「健康で友愛と奉仕の輪を上げよう」をスローガンに、記念式典、記念講演の二部構成で実施されました。

記念式典では、会員で100歳、95歳、90歳になられる方の長寿者表彰、会長を永年努められた方の勤続表彰を行いました。

また、記念講演では、歯科衛生士の樋口久子先生より『健康はお口から、食べる力と健康長寿～美味しく楽しく素敵な笑顔～』というテーマでご講演いただき、口腔ケアの大切さや食習慣が健康に与える影響等について、レクリエーションを交えながら楽しく教えていただきました。

～ 表彰を受けられた皆さまおめでとうございます ～

【長寿者表彰】100歳の部6名、95歳の部12名、90歳の部44名 【永年勤続表彰】2名



▲記念式典（長寿者表彰の様子）



▲記念講演（樋口久子先生）



▲記念講演（会場の様子）

寄付へのお礼

令和6年7月26日から令和6年10月25日受付分

社会福祉協議会へのご寄付をいただきました。

ご厚意に深く感謝申し上げます。

〈香典返し寄付〉

ご芳名を紹介させていただき、故人のご冥福を心からお祈りいたします。

行政区		親族		故人	
当条	熊添 宗之様	幸子様			
長延下	光岡 公子様	佐頼様			
六田	椿 美智代様	利則様			
扇島	渡邊 衛様	昭三様			
一條	野口 正博様	絢子様			
内田	姫野 敏治様	喜美子様			
太田	稲員ツナ子様	武利様			
川瀬	橋本奈穂美様	和義様			
吉常	野中 安博様	陽子様			
吉常	樋口 浩様	千代子様			
鬼ノ瀧	高木 由実様	原野スミ子様			
古賀	國武 聖子様	晃久様			

管理栄養士おすすめレシピ



今日のひとから

今回で紹介するのは、お正月のおせち料理の一品です。“のし鶏”や“松風焼き”と呼ばれ、簡単な手順で作ることができます。オーブン、フライパン、どちらで焼いても大丈夫です。

松風焼き

【材料・5人分】

- 1人分 : 153 kcal, 食塩相当量 0.7g
- ・鶏ミンチ…………… 300g
 - ・生姜…………… 20g(みじん切り)
 - ・玉ねぎ…………… 80g(みじん切り)
 - ・干し椎茸 …… 5g(みじん切り)
 - ・山芋…………… 30g(すりおろす)
 - ・卵…………… 20g
 - ・牛乳…………… 15g
 - ・米みそ…………… 20g
 - ・濃口醤油…………… 5g
 - ・サラダ油 …… 10g
 - ・白すりごま…………… 5g
- ④



【作り方】

- ① 鶏ミンチに刻んだ野菜をよく混ぜて、すりおろした山芋を加えて、さらに混ぜ合わせる。
- ② 混ぜ合わせた肉だねに④を加えてよく混ぜる。
- ③ アルミホイルにオーブンシートを重ね②をのせ、1.5cmくらいの厚さにならず。
※アルミホイルの四方を内側に折込み、箱型にする。
- ④ すりごまをふる。
- ⑤ 180℃に温めたオーブンで15分ほど焼き、そのまま冷ます。
- ⑥ 切り分けて盛り付ける。
※仕上げに竹串をさしたり、青のりをかけたりすると、より鮮やかな印象になります。

お子様から高齢の方まで、食べやすい口当たりになります。ぜひお試しください(*^_^*)